



真名子小だより 2月号

えが お

教育目標
進んで学ぶ子
思いやりのある子
笑顔はじける元気な子



令和3年2月12日

発行者 布川嘉英

新年を迎えたと思ったら、既に1年の1割強が過ぎてしまいました。今月に入り暖かい日も増えて、確実に春に向かっていることを感じます。去年は2月末で突然の休校となってしまいました。その原因となった新型コロナ感染症は今も終息には遠く、私たちの暮らしを制限しています。しかし、学校では子ども達の明るい笑顔があふれ、毎日元気に活動しています。普通に学校が開かれていること、仲間が集まって学べる時間に感謝し、卒業式・修了式まで残る1か月余の日々を大切に過ごしていきたいと思ひます。

避難訓練 1月21日

東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）から10年、兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）から26年となりました。日本列島に住む限り、いつ、どこで自然災害に遭っても不思議ではありません。そんな中で、災害に備える心の準備は大切です。普段の地震時すぐに机の下に身を隠す行動が取れる子ども達は、今回の予告無し訓練でも落ち着いて判断し、安全に避難行動をとることができました。

訓練放送と同時に机の下に避難→



漢字検定 1月28日

本校を会場に開催する漢字検定は4回目を迎えました。毎回多くの合格者が出ています。今回は10級から4級まで、27名の児童が受検しました。試験開始直前、担任から説明を受ける児童は緊張気味です。このプレッシャーも良い経験になると思ひます。それぞれ力を出し切り、全員合格できることを期待しています。



資源ごみ回収のお礼と報告 1月17日

好天の元、今年度2回目の回収が行われました。地域の皆さん、ボランティアの皆さんのご協力により真名子地区全域から資源物が集まりました。今年度の収益は下の表の通りです。収益金はPTA活動費、教育用備品・消耗品、カレンダー印刷等に活用させていただきます。ご協力に感謝申し上げます。

8月	1月	年間合計
59,752円	44,363円	104,115円



新入生保護者説明会 2月3日

新入学児童の保護者に説明会が開かれました。8人の子ども達も同伴していました。例年は1・2年生と交流会が行われますが、今年は見合わせることにし、代わりに1・2年生が作ったリースをプレゼントしました。真名子小学校は、子ども達が素直でとても仲が良く、また地域や保護者の皆さんがとても大切にしている美しい学校です。入学したら1日も早く馴染んで、元気に学んでほしいと思ひます。在校生・職員ともに新しい仲間を迎えることをとても楽しみにしています。



ニュース 相田淳子教諭（6年担任）が栃木市エキスパート教員に選ばれ、去る1月18日に市本庁にて表彰式が行われました。エキスパート教員とは優れた指導力を発揮し、模範となる教員に贈られる賞で、今年度は市内小・中・高校から6名の教職員が受賞しました。

学校運営協議会 1月26日 (議事内容報告)

(1) 学校関係者評価

(自己評価結果について、学校運営協議会委員からの意見等をいただきまとめたもの)

・進んで学ぶ子	○家庭学習が習慣化し、学習内容を理解していると自己評価した児童がとて多い。 ○小規模校の良さを生かした教育の成果が出ている。 ○教師による読み聞かせは良い時間である。 ・「ふるさと学習」をより進めてほしい。
・思いやりのある子	○すべての児童が「学校が楽しい」と感じているのは素晴らしいこと。 ○小規模校の良さの一つで、全学年で仲良く学校生活を送れている。 ○学校行事でも必ず子ども達に活躍の場があり、貴重な経験ができています。 ・全員に「いじめがない」と回答できるよう努力してほしい。 ・「心のこもったあいさつ」を推進したい。
・笑顔はじける元気な子	○ボランティアや職員による登下校の見守りは素晴らしい。 ○水曜日のロング昼休みと月1回の「なかよしタイム」を今後も推奨したい。 ・ホームページ等で、学校での生活の様子がわかりやすく投稿してある。それをもっとアピールするべき。

(2) 西方中ブロック小中一貫教育の取り組みとその成果について

(学校・家庭・地域が一体となって西方の子どもを育てる)

○西方ブロックのめざす子ども像 【自主 敬愛 剛健】

- ・進んで学習に取り組み、自分の考えを表現できる子ども
- ・思いやりの気持ちを持ち、互いに協力する子ども
- ・目標に向かって努力し、心身ともに健康な子ども

<今年度の成果と課題>

上に掲げた「西方ブロックの目指す子ども像」の実現に向けて、小・中いずれの教職員も、意識的に取り組んでいる。また、子ども達の回答も比較的良い。

『早く寝 night』は目指す児童像の実現に一定の成果を残してきたが、「早寝」の部分だけが強調されてしまい、特に中学校では実態に合わない部分が生じてきた。そこで次年度は名称を含めて見直しを行う。

(3) 「めざす児童像」の達成状況について

新たな「めざす児童像」を掲げて1年間、学校を挙げて取り組んできた。まだ始まったばかりで継続指導の途にある。学年があがるに従い、本校の教育活動により培ってきた姿が明確に見られ、高学年では学校のリーダーとしての自覚が感じられる。今後も各学年それぞれの発達段階に応じた成長が期待できるであろう。

課題としてあげられるのは、自分の良さに気づき認めることが低調であること。子ども達には良いところや優れたところがたくさんあるが、自らはそれに気づいていない様子。それに気づかせ、自信をもたせていきたい。

(4) 次年度の学校運営基本方針(案)

今年度の基本方針を継続していく方針。目標に近づくよう努力していきたい。

(5) 次年度の行事予定(案)

これまで実施されてきた行事もコロナ感染による影響を免れず、多くの行事が従来通りに実施できる状況にない。しかし、方法を工夫するなどして、教育活動の目的を達せられるようにしていきたいと考えている。学校支援ボランティアの協力により実施してきた行事も実施可能な方法を考えていきたい。

(6) ふるさと真名子学習を推進する総合的な学習のあり方について

3年生(ふるさと探検隊) 4年生(福祉) 5年生(環境) 6年生(国際理解)それぞれのテーマをふるさと学習に結びつけ、ふるさとを知り、ふるさとを大切に思う子どもを育てていきたい。

(7) 人権教育について

コロナ感染にかかわる人権差別問題やいじめの問題など、懸念される状況が発生する前に「心を育てる教育」が必要。保護者の言動が子どもに大きく影響するので、家庭教育がとても大切。